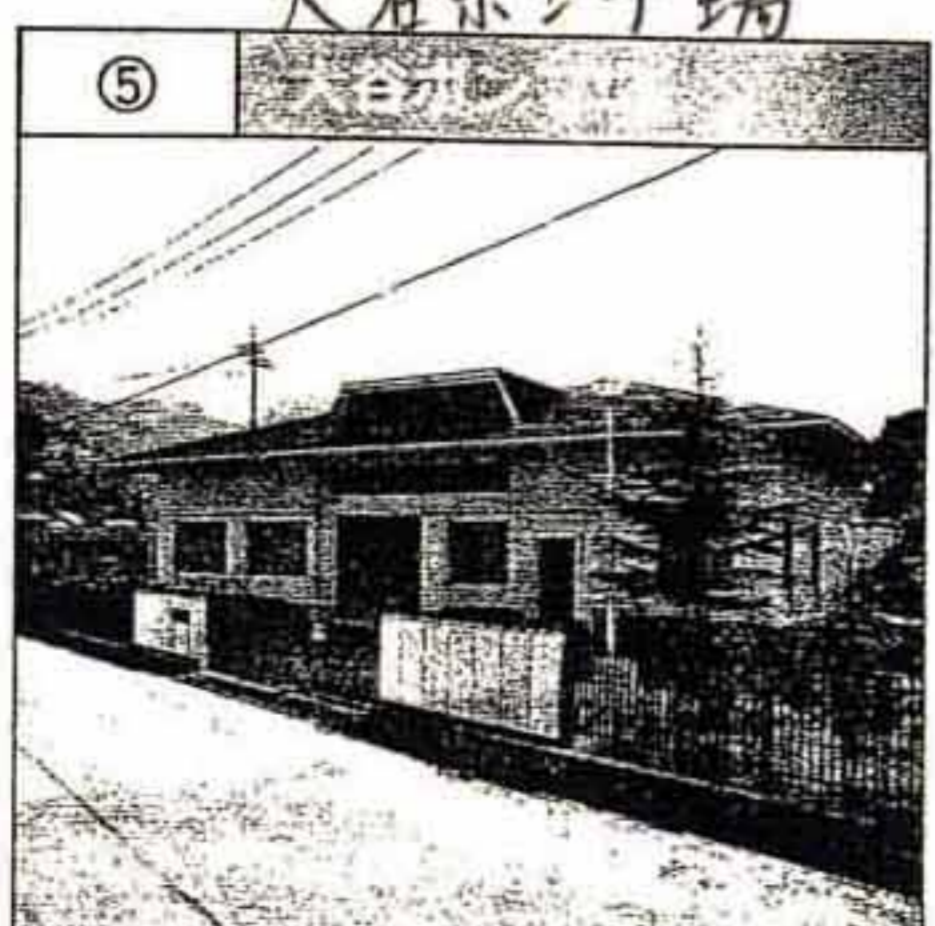
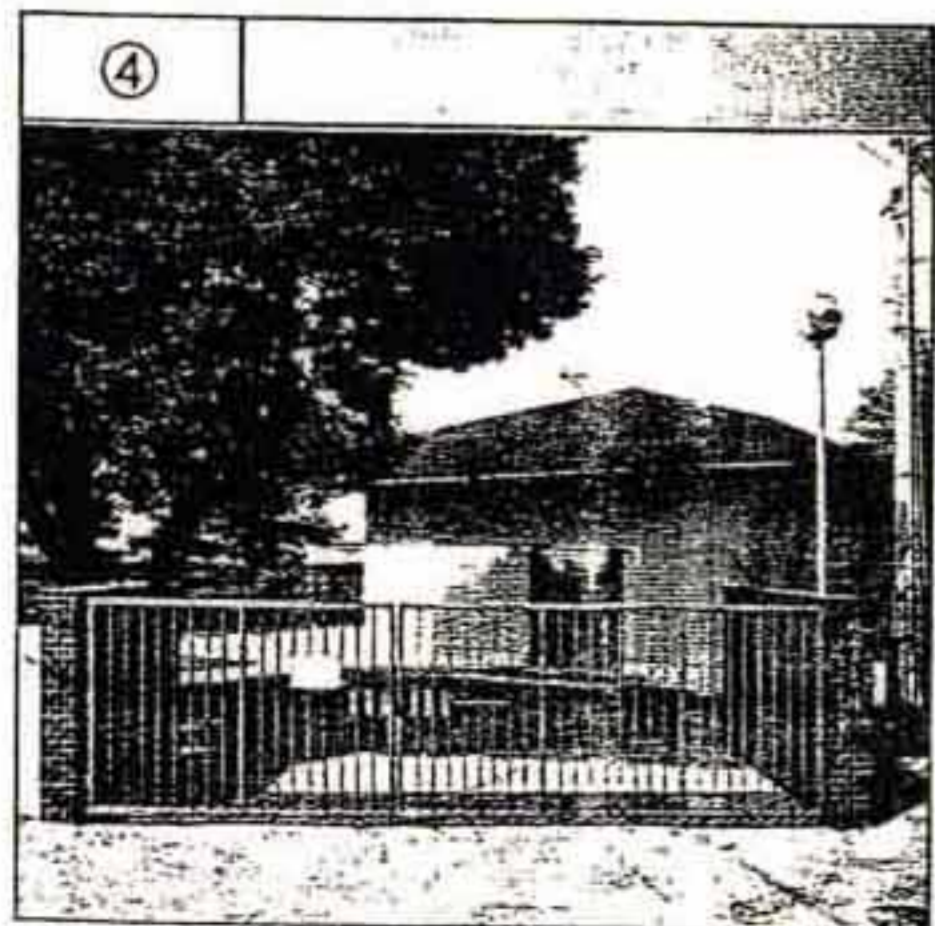
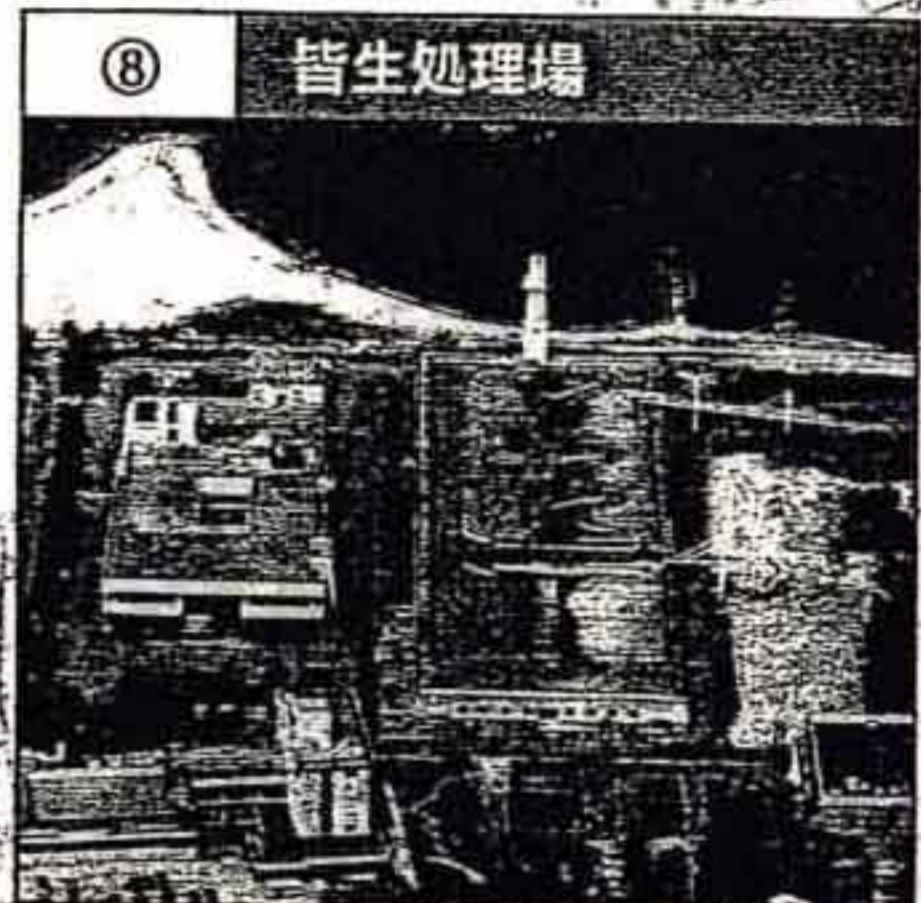


公共下水道全体計画図と供用開始済の下水道施設



- 全体計画区域
- ⊗ 処理場
- Ⓟ 中継ポンプ場
- Ⓟ (計画)
- 幹線
- 吐口

震前兆の一口、前兆

期の繰り返しは、四国の南海トラフで百年前の周期で発生する巨大南海地震と関係がある。

南海地震は、フィリピンプレートが西南日本下に潜り込む結果、生

たひずみが一挙に解放

されて起きる。その発生の約五十年前から、ひずみが陸域まで及んでくるために、西日本の内陸部でM6.5-7クラスの地震が数回発生するとい

う。前回四六年の南海地震(M8.0)前は、二五

年に北但馬地震(M6.8)、二七年は北丹後地震(M7.3)、四三年には鳥取地震(M7.2)が起きた。

「もう少し様子を見る必要があるが、今回の南海地震の前兆の一つである可能性もある」と同

南海地震は巨大地震の中では規模が小さく、未解放のエネルギーが残っている。そのため次は二〇四〇年より前に起きるだろう」と予測。「阪神の五年後に近距離で同規模の地震が起きた」点を重視して推移を見守るとい

液状化境

鳥取県境港市の竹内工業団地では、地震から一夜明けた七日も地中の砂混じりの水が路面の亀裂からあふれ出す液状化現象が見られ、市職員らが実態を調査した。同団地を訪れた市職員

き混ぜられ、路面を突き破って水を噴き出す現象。竹内工業団地では点々と路面が波打ち、亀裂を起し、泥に覆われ、一夜明けてもなお、水が漏れ出している個所が見られた。三年前、同団地を会場に開かれた山陰・夢みなど博の華やかさが幻のようだ。

量「阪神」の半分

建設省国土地理院(茨城県つくば市)は、鳥取県西部地震の震源付近の断層運動を解析した。長さ約二十キ、幅約十キの断層が一・四びすれていた。また、断層の大きさと移動量から推定したモーメント・マグニチュードは6.6で、阪神大震災より0.3小さく、地震のエネルギー量としては半分以下だったことが分かった。

国土地理院が解析

同院は震源周辺に設置した衛星利用測位システム(GPS)で観測した地殻変動データを解析し、地震を発生させた断層の位置やすべりの大きさを出した。

断層は、北西端が東経一三三度一八分、北緯三五度二一分で米子市の南西約十キに位置し、南東方向に伸びていた。大きさは長さ約二十

キ、幅約十キ。ほぼ垂直な断層で、上端部の深さは地表から約一キだった。この断層の位置は、余震の震源分布とほとんど一致。断層運動はほぼ純粋な左横ずれで、約一・四び移動していた。

一方、断層の大きさと移動量から推定したモーメント・マグニチュードの大きさは6.6で、地震計にとらえられた地震

米子、会見で震度4

7日も余震続く

鳥取県西部地区では、余震活動が七日に入っても続き、米子市、日野、溝口町で震度4を観測す

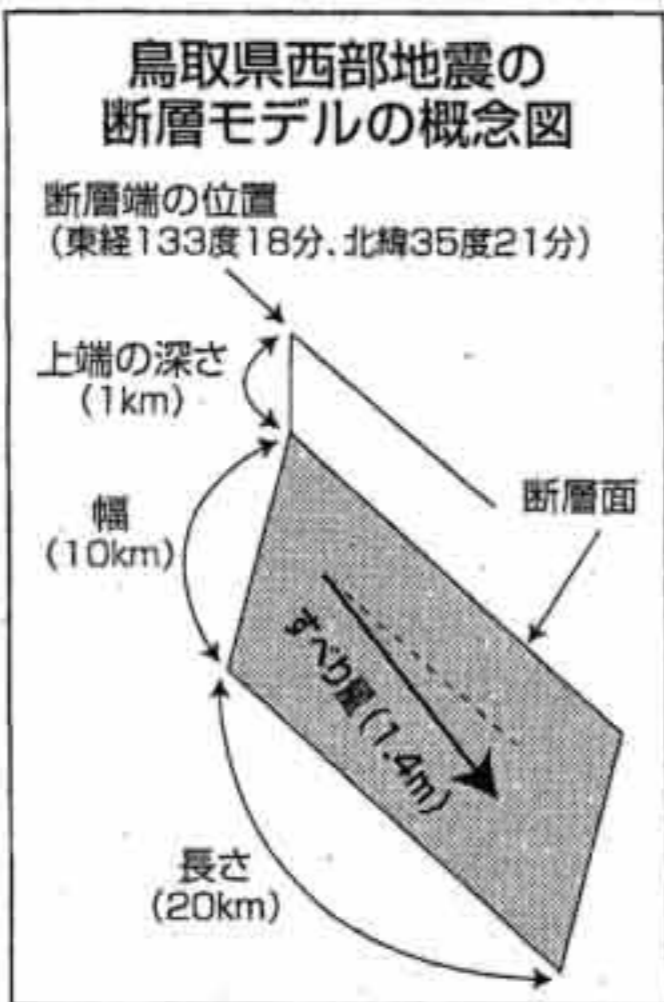
るなど、鳥取地方気象台によると震度1以上の余震は午前零時から午後六時までで百三十八回発生、六日からの通算は三百五十一回に達した。うち四十一回は震度3以上で、気象庁は引き続き厳重な警戒を呼び掛けている。

七日の最大余震は震度4で、午前四時五十六分に日野、溝

口町、同八時十七分に米子市、午後零時三分に会見町で計三回観測した。震度3は十三回、震度2は三十八回、震度1は八十四回を数えた。

気象庁は同日、午後四時から三日以内にマグニチュード(M)6以上の余震が発生する確率は五〇%、M5以上は四〇%と発表した。

7日午前9時



鳥取県西部地震の断層モデルの概念図

断層端の位置(東経133度18分、北緯35度21分)

上端の深さ(1km)

幅(10km)

長さ(20km)



鳥取県西部地震の余震活動

震度4で、午前四時五十六分に日野、溝

同庁は「余震活動は衰えつつあるが、M6以上の発生確率5%は、通常の状態と比較すれば発生の恐れは数千倍以上」として、壊れかけた建物に近づかないなど警戒を続けるよう呼び掛けている。

20キロの断層動く

No.

境港下水処理場
液状化 吹出し



No.

液状化 吹出し



No.

地盤のずれ





No.

道路



No.

沈下

液状化



No.

側溝破損

No.

ひびわれ



No.

沈下



No.

沈下





No.

水処理

沈下



No.

沈下

◀E・L

No.

No.

吹出し



No.

沈下



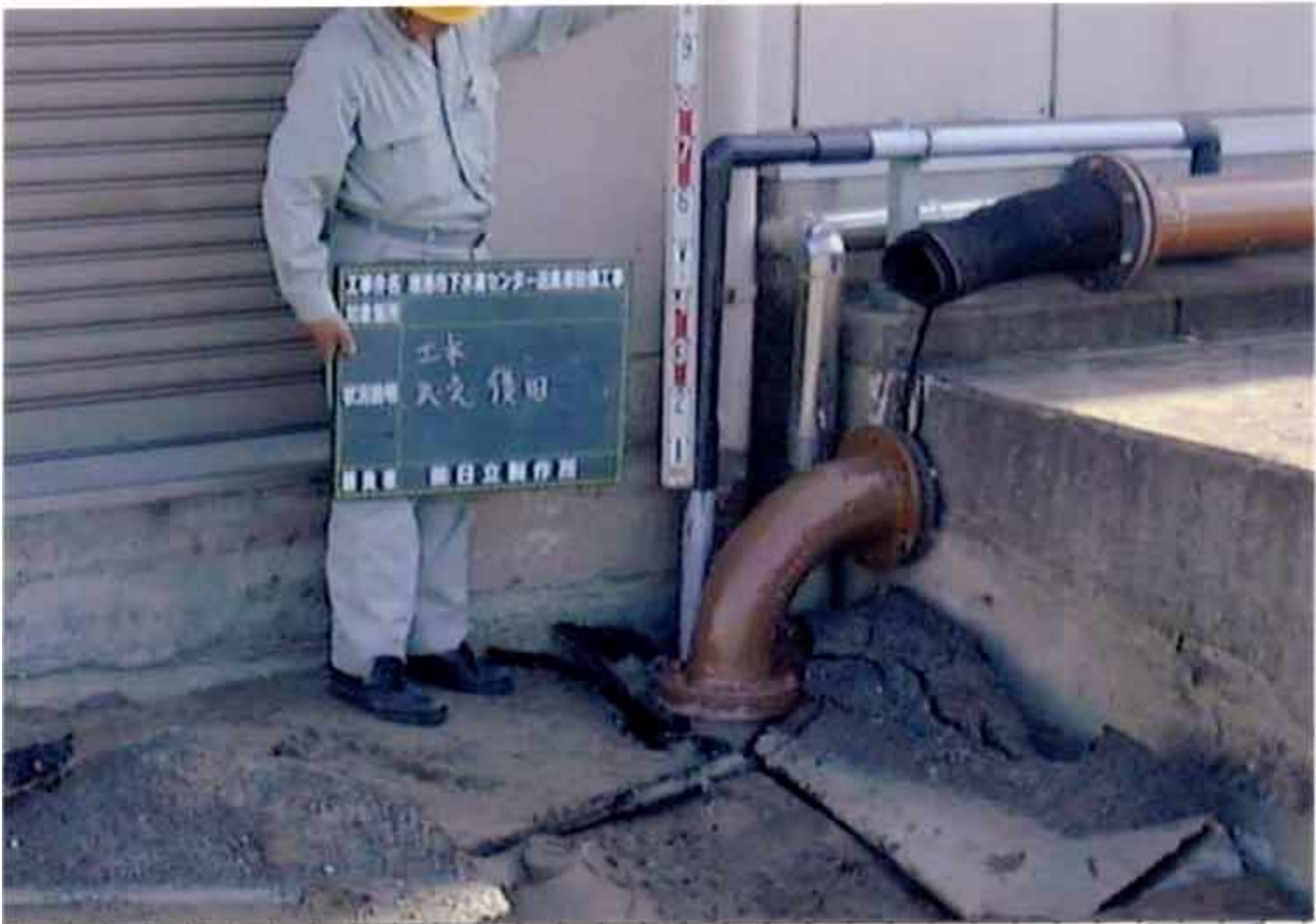
No.

沈下により配管破損





No.



No.



No.

No.

ポンプ棟

沈下



No.

沈下



No.

E・L➡



No.

ポンプ棟

沈下



No.

管理棟

沈下



No.

沈下

No.

ポンプ棟南
電廊 EXPジョイント



No.

折曲り



No.

水処理
電廊 折曲り





No. _____



No. _____

機材倉庫傾斜



No. _____

No.

主ポンプにずれ



No.

バルブBOX

HIVP破損



No.

E-L